



第4回クラブフォーラム「国際奉仕」 国際奉仕委員会担当 フォーラムテーマ「話・和・輪 で 地域の国際奉仕を考えよう」

フォーラム主催者挨拶

伊藤 晴康 R情報・ラーニング副委員長



クラブフォーラムは「クラブ討論会」とも言います。『これだけは知っておきたい「ロータリーの基礎」』によると、クラブフォーラムは、奉仕理念やクラブ管理運営、委員会活動などの問題点について自由に意見を述べ合う討論会であり、コトの白黒をつけたり、あえて結論を導き出す必要はありません。なるべく多くの会員からの発言を促し、本来の討論会にする配慮が必要であり、小グループに分けて自由に発言する「バズ方式」が望まれるとされています。また「ロータリー読本」によると、会員にロータリー情報を徹底せしめるために随時開催されるもので、ロータリー情報に精通した会員をリーダーとして自由討論をする会合です。本日は、参加者の皆さまの活発な発言をお願いいたします。

フォーラムリーダー主旨説明 植村 忠慶 国際奉仕委員長



今年度のRI会長メッセージの理念のもと、当クラブは今年度も海外で奉仕事業を行ってきました。一方で、先週行われた地区国際奉仕委員長会議において、鈴木ガバナーは海外で行う国際奉仕事業も、地域に根差した国内で行う国際奉仕事業もどちらも大切だとお話をされました。また、先週の例会でもお話がありましたが、当地区でも国内で様々な国際奉仕活動を模索されるクラブが増え、実際に活動が広がっています。それらのことを踏まえ、今後も当クラブで海外での活動はもとより、国内で行う国際奉仕活動についても検討できたら素晴らしいと考えています。

ディスカッションでは、皆さまに積極的に発言していただき、他の会員の意見も広く参考にし、新たな気づきや活動のヒントを得られるようなフォーラムにしたいと考えています。

豊橋RCらしい国際奉仕活動を！ 鈴木 健太郎 会員



現在の国際奉仕活動を更に発展させるためには、現在行っているタイ国の事業について効果の検証を行う必要があるということで意見が一致しました。タイ国の事業は30年続いていま

すが、このような事業は10年に一度は検証を行う機会を設けることが大切だと思います。また、他に本当に困っている地域はどこなのか調べる活動から始めるべきではないかという意見もありました。当地域で実施可能な国際奉仕活動については、豊橋で生活をする外国籍の方へ向けた交流支援や、日本の作法などを共有する場を設けることも我々の仕事だと思います。豊橋RCらしい国際奉仕活動については、今はタイ国へ出向いて活動していますが、次は内向きの活動にシフトしていくのも良いのではないかという意見がありました。また、在留外国人の方だけでなく、ハーフの方も含めて、外国籍の方と日本人がお互い住みやすい社会を作るための活動も大切だと思います。

当地域で実現可能な国際奉仕活動を！ 村田 好章 会員



現在の国際奉仕活動を更に発展させるためには、タイ国の事業は30年の歴史があるため、経験豊富な会員から話を聞くことで過去や成果を知り、理解を深めることが重要だと思います。当地域で実現可能な国際奉仕活動については、外国籍の方の生活や教育の支援についての話が出ました。愛知県は外国籍の方が多いため、様々な場面でトラブルも出てくると思います。そのようなことについて支援したり、教えてあげることが必要ではないかということで話がまとまりました。豊橋RCらしい国際奉仕活動を行うための優先事項については、まず、一人ひとりが意識を向上させることが大切だという意見が出ました。また、今後は外国籍の方と交流を深めながら、ロータリークラブの良さについて知ってもらうことも必要だというお話もありました。自己満足だけでなく、今後は豊橋に住む外国人の方との国際交流にしっかりと取り組んでいくことが大切ではないかと思っています。

身近な活動も国際奉仕に繋がる！ 久米 友希絵 会員



国際奉仕活動を更に発展させるためには、先週国内でできる国際奉仕のお話がありましたが、そもそも海外に出てこそではないかという意見がありました。国際奉仕は以前は、貧しいところに手を差し伸べるというものでしたが、最近その概念が変わってきています。また、日本にいる外国籍の方が

増加していることから、以前よりも国際奉仕が必要になってきているという意見も出ました。これまでのやり方が正しいとは限らず、新たなやり方が求められています。そのためニーズを把握することが必要ではないかという意見もありました。当地域で実施可能な国際奉仕活動については、海外で外国の方が作られたものを購入するフェアトレードや、海外から働きに来られている方に日本で技術を習得していただき、自国でその技術を活かしていただくことも国際奉仕になるのではないかと意見もありました。そもそも何をやっても国際奉仕につながるのではないかと結論になりました。

奉仕活動資金調達にもひと工夫を！ 水戸学 会員



現在の国際奉仕活動を更に発展させるためには、必要となる支援や指導を継続する中で、その地域の方々の視野を広げてあげることが大切ではないかという意見が出ました。また、例えば日本が奉仕をする立場であれば、奉仕を受ける国が日本を超えるか、同じレベルに達することをゴールとし、そこを目指して支援の継続を行う必要あるのではないかと意見もありました。当地域で実現可能な国際奉仕活動についてですが、豊橋市の人口約36万人のうち、外国籍の方は約2万人となっています。外国籍の方は日本に働きに来ていたり、日本語を学びに来ているため、地域との接点は少ないのではないかと話になり、我々が架け橋となることで、日本文化や日本の良さを知ってもらい、国に帰って広めていただければと思います。しかし、奉仕活動にはお金が必要だと思うので、例えばSDGSを軸に企業連携を行い、助成金を活用したり、チャリティーやデジタル募金などを使い、資金調達を組み合わせて持続性を高めながら支援を行っていくのが良いのではないかと意見が出ました。

外国籍の方と目線を合わせ支援を！ 西根 祐一 会員



現在の国際奉仕活動を更に発展させるためには、豊橋RCはタイ国の農業支援を30年間継続していますが、ここで見直すべきなのか、そのまま続けていくべきなのか一旦議論が必要ではないかというお話が出ました。タイ国の事業は、元々若者の定住化を目指したもので、今は若者が農業をやり始めているところなので、もう少し続けた方が良いのではないかと意見や、土台はできたので次のテーマに向かって進むべきではないかという意見も出ました。今までは、海外へ行って国際奉仕をすることが一般的でしたが、日本国内で国際奉仕をするという新しい考え方が出てきました。豊橋市は外国籍の方が多いので、そのような方に向けて奉仕することも一つの案ではないかと思えます。その中で、外国籍の方と目線を合わせて、しっかり会話をしながら支援を行っていくことも大切だと思います。結論は時間が足りなくて出せ

ませんでした。皆さまの英知を合わせて議論していくことが大切なのではないかと思いました。

市民同士の交流のアプローチを！ 金子 幸義 会員



現在の国際奉仕活動を更に発展させるためには、まず参加しやすい事業を行うべきだと思います。今の国際奉仕活動は限定された方々が行われているので、会員全員で参加できるような活動も良いのではないかと意見が大半を占めていました。豊橋市では外国籍の方の比率が高いため、市内の外国籍の方に支援を行うということも一つのアプローチの方法ではないかというお話がありました。当地域で実施可能な国際活動についてですが、外国籍の方々は言葉の壁などもあり、コミュニティが国籍ごとに独立しているのではないかと意見が出ました。そのため、例えば日本語を教えながら、そこに様々な国籍の方が交流できる場を作ることによって、それが支援につながっていくのではないかと意見がまとまりました。豊橋RCらしい国際奉仕活動を行うための優先事項については、ロータリークラブには長い歴史があるため、昔の「陰徳を積む」という考え方から、徐々に実際の活動を行うということに移っているという背景も踏まえ、市民同士の交流を率先してリードしていくことが一つの方法として挙げられるのではないかと意見がまとまりました。

アドバイザー纏め

高山 景一 会員



他のクラブでは国際奉仕をやりたくても、なかなか奉仕する先が見つからないというのが現状です。国際奉仕は一年だけ行っても意味がなく、ある程度の年数をかけて行うことが大切です。RIも現在「3-year Rolling Target」という3年間の目標と計画を推奨していますが、ゴールは変わっても良いとされています。豊橋RCとしては、今後どのようにしたら良いかについて皆で話をさせていただきたいと思えます。また一つの事業を始める場合は、ゴールを決めておかないと、だらだらと続いてしまうため、事前に皆で話し合うことが重要だと思います。

お礼の挨拶

植村 忠慶 国際奉仕委員長

どのテーブルでも活発な意見が飛び交い、新しい発想や気づきが得られたフォーラムとなりました。参加いただきました皆さま、積極的に発言して下さった皆さまに感謝申し上げます。比較的会員歴の若い方に発言していただきましたが、中には予習をして臨まれたことが分かるようなご意見もあり、大変勉強になりました。

本日のフォーラムでの気づきやヒントを元に、当クラブの国際奉仕活動がますます発展することを祈念いたしまして、私のお礼の言葉とさせていただきます。本日はありがとうございました。

フォーラム主催者締めの挨拶

伊藤 晴康 R情報・ラーニング副委員長

大変多くの皆さまからご発言をいただき、本来の意味での討論会という形になったのではないかと思います。最初にお話しした趣旨にかなったフォーラムになったと思います。

二宮金次郎も農民を集めて話し合いの機会を設けていました。その会は「芋こじ」と言われており、サトイモを桶に入れてすり合わせると、皮がむけてきれいになることが由来だと言われています。芋こじでは、村の問題についてみんなで話し合うなど、非常に民主的で先進的な取り組みだと思えます。話し合いを行う中で、それぞれの良いところを発見し、村の意識が向上したことで、生産性の向上につながったと伝わっています。

本日のフォーラムも、話し合いの中で、それぞれの良い点に気づき、皆さまの資質の向上に役に立ったのではないかと考えています。そういう意味で、非常に良いフォーラムだったと思います。本日で参加いただきました方、ご発言いただいた方に感謝を申し上げて、本日のフォーラムを終了したいと思います。

会長挨拶

井川 和英 会長



本日2月26日は、1936年に二・二六事件が起きた日です。青年将校によるクーデターで、高橋是清さんをはじめ数名の方が犠牲になり、それから数年後に大きな戦争へと繋がっていきました。

戦争といえばウクライナですが、日本からは直接兵器などは出せない条約になっています。その代わりに、砂を利用して水を作り出す技術をウクライナの方々に届けているようです。また、約900機の発電機をウクライナに届け、ロシア軍によって攻撃された施設を、この発電機を用いて修復していると聞いています。国際的なものですが、早く戦争が終わってほしいと願うばかりです。

富裕層が集まるモナコでは、持続可能性と経済成長の両立を目指し、利益と倫理を両立させる「レスポンシブル・ラグジュアリー（責任ある豊かさ）」を掲げているそうです。現在、国全体の電力の75%を再生可能エネルギーで補っているそうです。

現在それぞれの国が動いています。我々は、討論を行い、これからの活動にどのように繋げていくかが大切だと思えます。

会長報告

1. ガバナーノミニー・デジグネート（2028-29年度ガバナー）選出の報告が届きました。
岡崎RC 峰澤 彰宏氏
2. 2月21日（土）に開催された、豊川宝飯RC創立40周年記念式典参加報告

幹事報告

山本 貴浩 幹事

1. IM特別企画タブロイド紙をポスティングにて皆様に配布しました。

ニコニコBOX

高橋 豊彦 ニコニコ委員

- 植村忠慶国際奉仕委員長、本日のフォーラムよろしくお願ひします。楽しみにしております
井川 和英 会長 山本 貴浩 幹事
- 本日のフォーラムを主催します。よろしくお願ひします
伊藤 晴康 R情報・ラーニング副委員長
- 本日のフォーラムリーダーを務めさせていただきます。
よろしくお願ひいたします
植村 忠慶 国際奉仕委員長
- ファーラムのアドバイザーを務めます。よろしくお願ひします
高山 景一 会員
- 植村委員長、本日のフォーラムを楽しみにしています
佐々木 利政 井口 貴嗣 伊藤 恭三 井上 泰宏
山本 勘司 金子 幸義 笠原 元樹 豊田 正博 各会員
- とよはし市電を愛する会の会長になりました。市電に乗りましょう
富田 佳央 S.A.A.
- 今朝の中日新聞に世界的有名なテノール歌手の方が載っていました。私と同じ名前（漢字）で福井敬（フクイケイ）さんです。私ではないので間違えなく
福井 敬 会員
- ローターリーでいつも骨を折っていたつもりが、本当に骨を折ってしまいました。1カ月経つのもう歩けます。
ご迷惑かけました
佐々木 利政 会員 (順不同)

歌

ソングリーダー 山本 光伸 会員

「雪の降る町を」

ビジター

豊橋北RC	4名
豊橋南RC	1名
豊橋ゴールデンRC	2名
計	7名

出席報告

山本 貴浩 幹事

当日出席者	53名	計算会員数	88名中35名欠席
総会員数	110名	出席率	60.23%

例会予定

次回のプログラム

3月5日（木）地区出向者報告

- 3月12日（木）ファミリーデー
- 3月19日（木）休会
- 3月26日（木）卓話「二宮金次郎の昆孫の中桐万里子からのメッセージ」

写真の閲覧はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

